

「共通テスト」リーディング攻略マニュアル

(編) 八幡成人

問われている力 = 英文全体の把握力 細部の理解力 英文からの推測・判断力が求められている ●知識を有効に使って思考する・判断する・表現する力

選択肢を検討するときは、常に本文の言い換え表現が含まれていないかを意識する。時間配分を誤らないように！ **重要**

★本文のどこに設問を解くための情報が書かれているか？

【時間配分】 テスト開始～25分 → 第1～3問
▶「配点×0.8」を目安に。

開始25～50分 → 第4・5問

開始50分～75分 第6問A・B 最後の5分
(検算)

第1問全体の正答率は90% (ウォームアップ問題) ⇒ 絶対に落とせない問題！

第1問 **A** **メッセージ** 本文約140語 時間配分 3分 4点

メッセージ問題 全部読む ⇒ 一気に解く

- ①問題文冒頭の英文で「場面設定」を把握し、「何について書かれた英文か?」をつかむ (要点把握)。
- ②設問文から「何を探せばいいのか」を明らかにする (「キーワード」の設定)。
- ③「キーワード」を検索し (=キーワードと同等の内容)、周辺の内容を確認する = **情報検索**
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→ 正解選択肢の発見 (=本文の内容を別の表現で言い換えたもの) 主語や目的語の「すり替え」に注意する。「消去法」も有効な手段。
・①文書の見出しなどからテーマを把握 → ②設問を素早く読んで、読み取るべき情報を確認
→ ③本文中から答えを探しながら読む (1文1文を確実に読める力)

- 「**情報検索問題**」では、設問で何が問われているのかを確認してから本文を読んだ方が、素早く設問の根拠となる箇所を見つけることができる。 **選択肢**までは読む必要はない (3つはウソ)。
- 英文を読むときは、設問を解く手がかりとなる箇所に、下線を引いたり、「**キーワード**」を丸で囲んだりしながら読み進める。本文中の語句・表現は**選択肢**では言い換えられていることが多い。

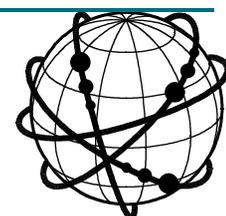
重要

必要な情報を素早く読み取る！

第1問 **B** **ウェブサイト** 本文約240語 時間配分 5分 6点

「**特定**」エリア検索問題

問1を読む ⇒ 該当するエリアを確認して解答。 ⇒ これを3問分繰り返す



- ①問題文冒頭の英文で「場面設定」を把握する。—**全ての問題で実践せよ!**
- ②太字のタイトル、見出し、項目から記事の概要をつかむ。表の「但し書き」や「備考」にも注意。
- ③設問文・選択肢から「キーワード」(=名詞(句)・動詞がほとんど)を設定し、解答に必要な情報を把握する。「設問先読み」は基本。本文のどこを読めばいいかが分かる→時間短縮。
- ④検索すべき場所を特定する。
- ⑤該当場所内で「キーワード」を検索し、周辺の内容を確認する(=情報検索能力)。
- ⑥「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→正解選択肢の発見=本文を別の表現で言い換えたもの⇒見た目は違うが意味はほぼ同じ 「消去法」も有効な手段。

※自分が必要とする情報を読み取り、書き手の意図を把握する。関係のない箇所はじっくりと読む必要はない。該当箇所は1文だけとは限らない。複数箇所を照合しないと答えられない設問もある。

※「注」や「補足」「但し書き」に重要な情報(ヒント)が含まれていることが多いので注意!

★キーワード = 名詞(句)・動詞がほとんど

※表・本文の中に出てくる同じ語句を用いた誤りの選択肢に注意(出題者の罠)。「本文での意味」と「選択肢での意味」が違えばアウト。「多義語」にも注意!



読解資料	設問	
エリア1 紹介	問1	各設問が「1つのエリア」に相当
エリア2 チャート	問2	
エリア3 付記	問3	

●探したいものを頭に入れて、それだけを、英文の中から素早く見つけ出す!

第2問 A 評価表と評価 本文約220語 時間配分 6分 10点

2つのエリアに書かれた情報を結合して正解を導く問題 — **資料の情報整理問題**
 始めに全部読む → 複数のエリアに書かれた情報を総合して正解を導く

- ①問題文冒頭の英文で「場面設定」を把握する。
- ②選択肢を「事実」(fact)と「意見」(opinion)にあらかじめ分別して、該当する選択肢を絞り込む。どの選択肢が「事実」を述べ、どの選択肢が「意見」を述べているかを確認しよう!**新傾向**
- ③絞り込んだ選択肢から「キーワード」を設定して、場所を特定して検索する。=探し読み キーワード周辺に根拠あり。「数字表現」(例: more than XではXは含まない)に注意。butの後には正反対の内容が来ることに注意。
- ④「キーワード」について「述べられている」選択肢を正解とする。=本文を言い換えたもの

※必ずしも問1から順に解く必要はない。簡単なものから片づけていく。
 問1→問2→問3…と、易→難となっていくとは限らないので、注意が必要。

読解資料	
エリア1	チャート
エリア2	個別意見
エリア3	付記



◆事実・意見の見分け方—両者をきちんと区別

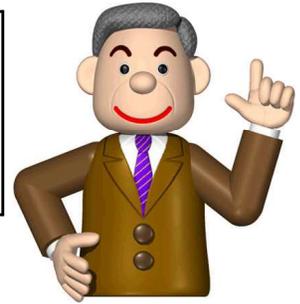
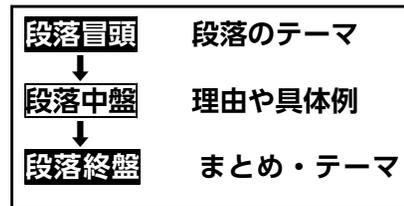
fact (事実)	文章の中心が 名詞・動詞 →賛成も反対もできない
opinion (意見)	文章の中心が 形容詞・副詞・助動詞 →賛成または反対できる

第2問 B ウェブサイト 本文約260語

時間配分 8分 10点

2つの資料を読み合わせる問題 = 文章 + 文章
意見の対立点を意識して読む

「特定」型設問

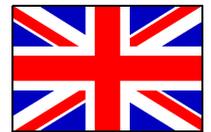


- ①問題文冒頭の英文で「場面設定」を把握する。
- ②タイトルから記事の概要をつかむ。
- ③設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する。設問に推量の助動詞が含まれていたら要注意→本文から推測
- ④本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。
- ⑤「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→正解選択肢の発見 = 本文を言い換えたもの
本文が伝えている「意見」のもととなる具体的な「事実」を読み取る。 = 「事実」と「意見」の区別

新傾向

※1つのパラグラフでは言いたいことを1つ述べる (“one idea in each paragraph”) のが英語の大原則

※イギリス英語に惑わされない。アメリカ英語の知識があれば十分対応可。 **新傾向**



※本文中で直接述べられていないことを関連する記述から推測する必要がある問題。

助動詞、推測動詞 (infer, indicate, imply etc.) には注意。 **新傾向**

※直訳すると分かりにくい語句・表現の意味 (語義類推問題) →前後の「文脈」をヒントに

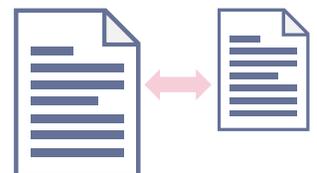
② 第2問Bは改まった文体で書かれているので、インデント (各段落1行目の最初の単語の字下げ) が行われ、短縮形は用いられていない。対して、第3問Aは、略式の文体で書かれているので、インデントはなされず短縮形も使われている。

・第3問全体の正答率は54.7%⇒差のつく問題

第3問 A ウェブサイト 本文約250語

時間配分 4分 6点

2つの資料を読み合わせる問題 (概要把握問題) ⇒ 「複合」型設問
文章 + ビジュアル資料 全部読む → 一気に解く
ひと通り文章に目を通した後、その内容をビジュアル資料としっかり照らし合わせる ※具体的情報から探すべき情報を押さえる



- ①問題文冒頭の英文で「場面設定」を把握する。
- ②設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する (= 数字・固有名詞・テーマ固有の語句)。
- ③本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。イラストの情報にも注意する。
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。
- ⑤設問への解答 → 選択肢の根拠となる文をしっかりと確認しよう (= 原文典拠の法則)
複数の段落に解答の根拠があったり、図表の中にも解答の根拠があったりするので、すべてを注意深く読むこと。 「消去法」も積極的に活用。

●選択肢から「キーワード」を拾う→本文のどこに登場するかを探す→選択肢の判断

第3問 B 記事 本文約310語

時間配分 7分 9点

「行動」「感情」推移把握問題

忘れずに!



《キーワード検索型》

- ①問題文冒頭の英文とタイトルで「場面設定」と「話題」を把握する。
- ②設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する。
- ③本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する（「原文典拠の法則」）。

《時系列整理型》 **新傾向**

※出来事や感情の推移を時系列に並べる問題は、あらかじめ選択肢を読んでおく方が効率的 **重要**

- ①選択肢を確認し、設問がスタートするシーンを特定する。
- ②「最初の変化」→「第2の変化」を特定する。
- ③残りの流れと選択肢を照合する。「本文に出てきた順番」＝「出来事が起こった順番」とは限らないことに注意!

※「感情表現」を整理しておくこと。（ラーンズ『重要問題演習』の「ナビゲーター」に一覧表あり）
「時」を表す表現に着目

※本文の内容を正確に把握した後、その情報に基づいて、その「先」を推測させる問題は「共通テスト」の**新傾向**

★ここまでを30分程度で片付けるのが目標!!

第4問 複数のメッセージと図表 本文約450語

時間配分 13分
16点



複数資料の比較読解問題 文章①+文章②+ビジュアル資料

文章①を読む → ビジュアル資料中の関係箇所をチェック →文章②を読む
→再チェック →一気に解答

●文章①を読んだらビジュアル資料を「しっかりチェック」、文章②を読んだら
また「しっかりチェック」 ※2010年～2015年センター試験第5問で類題が出題

※推量の助動詞が設問にある場合は、本文を手がかりに最もふさわしい選択肢を推測する

※「グラフを読み取る力」&「複数の文書を読む読解力」 グラフ問題に頻出する語（句）を整理

- ①問題文冒頭の英文と図表のタイトルを読んで、「場面設定」と「話題」を把握する。グラフは「表題」「項目」「単位」などの情報を見落とさない。グラフの極端な部分には要注意!
- ②設問文・選択肢から「キーワード」を設定する。 ※やみくもに本文を読んでいくと時間切れになる。
- ③「キーワード」を本文内で検索する。
- ④その周辺にある解答情報を確認する→正解選択肢の発見 手がかりを丁寧に追う。
- ⑤複数の意見がある場合には「共通点」と「相違点」を整理して読む。「比較表現」に注意。 **新傾向**
NOT問題は「選択肢」まで読むべし!

第5問 物語(伝記) 本文約660語

時間配分 14分 15点

2分割で作業をするとよい(「5W1Hの法則」を意識)



本文前半を読む → 「出来事の順序」を問う設問の選択肢をチェック(最初の1つまたは2つを固定) → 既読範囲から解答可能な設問すべてに解答 → 本文後半を読む → 「順序」設問に最終解答 → その他すべての設問に解答

抽象 → 具体 の「言い換え表現」に注意する。

※出来事や感情の推移を時系列に並べる問題は、あらかじめ選択肢を読んでおく方が効率的 **新傾向**

※タイトル問題は、部分的な情報しか書いていない選択肢は×(ひっかけ)

- ①問題文冒頭の英文とプレゼンテーションスライドの見出しを読んで、「場面設定」と話題を把握する。
- ②設問文を読んで、何が問われているかを明確に把握する。
- ③本文を読み始め、設問文に現れるシーンを特定する。「時」に関する表現に注意しながら、出来事の時系列を追って読む。
- ④その周辺にある解答情報を確認・対照する(「同一内容異表現の法則」=見た目は違えど中身は同じ) → 正解選択肢の発見
- ⑤時制に注意して出来事の順序を読み取る。
- ⑥文章全体の「テーマ」を考え、登場人物の特徴や感情・行動の変化に注目する。

文章全体のテーマを考える!

第6問 A 論説文 本文約620語

時間配分 10分 12点

プレゼン資料に目を通して本文の流れを確認する → 本文前半を読む
→ 解答可能な設問すべてに解答 → 後半を読む → 残りの設問に解答

「全体の流れの把握」を重視

設問文を「先読み」した方が時間短縮につながる!



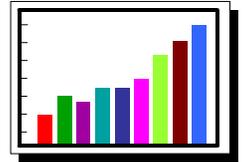
- ①問題文冒頭の英文とタイトル(大きなヒント)を読んで、「場面設定」と話題を把握する。
- ②設問文を読んで、何が問われているかを明確に把握する。選択肢は先に読む必要はない。
- ③本文を読み始め、設問文に現れるシーンを特定する。段落ごとに概略をつかみ「一言メモ」しておくとい(概要・要点の把握) ⇒ 要約・タイトル問題に役立つ。論理展開(抽象→具体)を意識して読むこと。「主題」と「具体例」を識別する。タイトル問題では、本文に書かれてはいるが、1つの具体例に過ぎないものは×(ひっかけ)。
- ④「筆者の主張」(テーマ)は何かを探りながら読む。ポスターなどがヒントになっていることが多いので活用する。★段落でテーマのある場所は? = ①最初と最後 ②「しかし」の後 ③疑問文
- ⑤その周辺にある解答情報を確認する → 正解選択肢の発見(正解は「言い換え」、間違いは「すり替え」か「記述なし」 内容一致問題 → 「原文典拠の法則」「同一内容異表現の法則」「極端の法則」)

第6問 B 論説文 本文約530語

時間配分 10分 12点

「細部の把握」の重視

本文前半を読む → 図表完成問題の選択肢をチェック / 解答に関係する部分を確認
→ 既読範囲から解答可能な設問すべてに解答 → 後半を読む → 図表完成問題に最終解答 → その他すべての設問に解答



- ① 問題文冒頭の英文を読んで、「場面設定」を把握する。
- ② 設問文を読んで、何が問われているかを明確に把握する。設問はパラグラフ順に出現。段落ごとに「メモ」を取ろう。探すべき情報をインプットしてから本文を読む。
- ③ 本文を読み始め、設問文に現れるシーンを特定する。本文を読むのは一度だけ！「読みながら、解きながら」
- ④ 本文中に固有名詞が出てきたら□で囲み、数値と線で結んだり、比較関係を書き込みながら読むと整理しやすい。
- ⑤ その周辺にある解答情報を確認する → 正解選択肢の発見 「消去法」も活用 「記述なし」に注意。
※ グラフ・表は数字に注意！「何が？」「いつ？」「どのように？」変化しているかを追いかける。「どこが違うか？」に着目。グラフの極端な部分に注意。
- ⑥ 「タイトル選択」問題では、1つの段落でしか言っていないことは消去する（ひっかけ）。



重要

● 「共通テスト」で点が取れない人（＝最後まで行かない）の「共通点」

- ① 語彙力不足 ② 文法力不足 ③ 問題形式への不慣れ ④ 時間配分ミス

要確認

「賢者は歴史に学ぶ」

（ドイツの宰相ビスマルクの言葉）

・ ◎マイナーな変更はあるだろうが、「大問構成」と「出題形式」は今年度を踏襲するだろう（八幡の予測）

① 来年は難化が予想される！

— 歴史的に見て試験導入翌年度は《難化》の傾向 ～「賢者は歴史に学ぶ」



- | | |
|---------------------------------------|--------------------------|
| ・ ◎昭和54年共通一次平均点 <u>124.70点</u> | → 昭和55年平均点 <u>93.79点</u> |
| ・ ◎1990年センター試験リーディング平均点 <u>141.3点</u> | → 1991年平均点 <u>135.9点</u> |
| ・ ◎2006年センター試験リスニング平均点 <u>36.25点</u> | → 2007年平均点 <u>32.47点</u> |

② 第2日程に見られた＜新傾向問題＞には注意が必要！

※ センター試験時代、新傾向の問題が登場するときには、前年の「追試」においてリハーサルをやっていた

(1) 本文がない表だけの資料を読み取って答える問題、(2) 本文を要約する問題、(3) 本文の内容をグラフで表すとどうなるかを尋ねる問題、(4) 第5問は人物の伝記

「共通テスト」リスニング攻略マニュアル

(編) 八幡成人

◆リスニング勉強の指針 ◆ 毎日コツコツ少しずつ!!

リスニングの問題集をやって、○×をつけて、はい終わり。こんな勉強をいくら続けても力はつきません。たとえ問題集を何冊やってもダメでしょう。そこから勝負なんですよ。まず問題文のスク립トを徹底的に読み込みます。知らない単語・熟語を・構文はないかどうか?意味の分からない英文はないかどうか?を確認します。それが終わったところで、スク립トを見ながら音声をもう一度聞きます。最初とは格段に違って耳に入ってきます。比較的易しい第1問～第3問で約6割(59点)の配点がありますから、ここでバッチリ得点することです。♥♥♥

★スク립トを徹底的に使い回す!

リスニングの演習問題(模試)を解く

↓

解答を○×答え合わせ

▶▶▶ ここまでは誰でもやっていること でもこれだけでは力はない! 実際はココからが本番!

↓

スク립トを徹底的に読む

- ・知らない単語・熟語・構文・文法はないか? →<書き出す>
- ・意味の分からない英文はないか? →<和訳>

↓

スク립トを見ながらもう一度音声を聞く

- ・オーバーラッピング・シャドーイング・ディクテーションも有効

↓

何も見ずに再度音声を聞く

・これだけでかなり聞き取れるようになる この積み重ね →リーディング対策にもなっている!

何よりも重要!

重要

ここまでやる!

リスニングの作戦はこれだ!

2回読みの第1問・第2問と1回読みだが比較的易しい第3問に全力投球することで6割取れるんだ!!

CD

★今の時点で、第1問～第3問がどのくらい取れているかを見れば、リスニングの基礎力が測定できる。

《難》

《易》

注目!!

【第1問A】 短文発話内容一致 《基本》

4点×4問=16点

15語程度

176wpm

★聞こえてくる英文の内容に合致する選択肢を選ぶ問題

※次の問題までの時間 約6秒

①英語の音声が始まる前に、選択肢の「動詞以降」に注目して、どのような内容の英文か?を予測しながら事前に読んでおく（先読み）。

※問題文の英文が始まる前に「指示文（問題の説明）」が始まるが、聞く必要はなし（問題用紙に印刷あり）。

②1回目で「全体」を聞き、2回目で「細部」を（再）確認する、が聞き方の基本。集中力を切らさず注意深く聞く。音声は2回流れるが、できれば1回で解答したい。

③発話内容の表す「状況」を素早くイメージしよう！文

ここは満点を狙う箇所 基本中の基本

法的に正しく判断して、話し手の意図を考える。紛らわしい発音や細かな意味の違いが狙われることも。

④読み上げられる英文の内容を言い換えた表現が選択肢に含まれているものが正解（リーディングと同じ）

話者の意図・要望、状況を推測したもの（はっきりとは述べられていない）も正解となりうる。誤りの選択肢—読み上げられる英文に含まれる語句を入れる（出題者の罠）

発話内容の表す状況をイメージ！

※解答時間 = 次の問題に備える時間

【第1問B】 短文発話イラスト選択 《基本》

3点×3問=9点

15語程度

179wpm

★聞こえてくる英文の内容に合致するイラストを選ぶ問題

※次の問題までの時間 約5秒

①音声を聞く前に、4枚のイラストの「対立点」「相違点」を事前に把握しておく（=見比べて「違い」に気づく）→聞き取るべき情報を事前に把握→どのような説明がなされるかを予測する。

②1回目で流れが予測通りかどうかを確認、2回目で答えを最終チェックする。



③文法的に正しく聞き取る！→内容の正確な理解 否定の意味を持つ表現に注意する（hardly, scarcely, little, few, seldom, rarely, too...to~）

※情報が聞こえた順番に惑わされない。



★1~2問難しい引っかけ問題が...



◎第2問全体の正答率は83.8%⇒絶対に落とせない問題！

【第2問】 短会話イラスト選択 《基本》

4点×4問=16点

30語程度

168wpm



★聞こえてくる会話の内容に合致するイラストを選ぶ問題

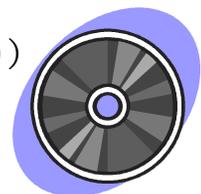
※次の問題までの時間 約5秒

※少しずつ異なるイラストが選択肢に並ぶ場合は、情報を組み合わせることで正解を導くことができる

①対話場面（日本語）「～について話をしています」の説明文が大きなヒント&イラストから対話内容を予測する。イラストの相違点を素早くチェックしておく。全く異なるイラストが選択肢に並ぶ場合は「消去法」で解ける。「位置関係」を示す表現に注意。

②選択肢になっているそれぞれのイラストの相違点を素早くチェックする（問8~問10）

③1回目で流れが予測通りかどうかを確認し、2回目で答えを最終チェックする。



※問題冊子には対話の状況が日本語で書かれている。これを十分活用する。

④「消去法」も活用して選択肢を絞り込んでいく。

⑤正解の根拠となる聞き取りのポイントは2カ所ある場合がほとんど。2文に分けて読み上げられる。

⑥話の流れの中で情報の追加や打ち消し、修正（情報の上書き）などが行われるので注意（錯乱情報）。



場面の情報を参考にして重要な情報を聞き取る



満点を狙う!

【第3問】 短会話・Q&A選択 《基本》

3点×6問=18点

50語程度

150wpm

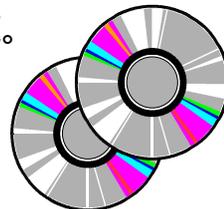
★聞こえてくる会話の内容に合致する選択肢を選ぶ問題

※次の問題までの時間 約10秒

- ①日本語による対話の場面の説明と、英語の設問文と4つの選択肢（「キーワード」が散りばめられている）から、対話全体の進行を予測する。「キーワード」になりそうな単語に着目。
- ②男性と女性が交互に発言する。それぞれの話者の意図や考えと、対話の流れを正確に把握すること。
- ③「キーワード」を拾うことを意識し、対話の「結論」を確認する。「キーワード」を待ち伏せながら聞く。対話は1度しか読まれないので注意深く聞く。解答のポイントは必ずしも対話の終盤にあるとは限らないので注意すること。「逆接」の表現が聞こえたら、その直後の内容に注意。
- ④聞き取った情報から解答を選択肢できる問題と、発言内容から推測可能な解答を選ぶ問題。

場面の情報を参考にして、概要や要点を目的に応じて把握する

↓ココからぐっと難しくなる↓



【第4問A】 モノログ型図表完成

4点+1点×4問=8点

90語程度

130wpm

★聞こえてくる英文の内容に合致するグラフや表を完成する問題

- ①音声を聞く前に、指示文と図表をよく見て、どのような内容の英文かを予測する。
- ②問題の情報から「キーワード」を設定する→「文章の中から何を拾わなければならないか？」時系列に並べる問題は、「時を表す表現」に注意する。出来事の順番通りに描写されることが多い。図表を完成する問題は、あらかじめ図表の項目をチェックする（特徴・数字・違い）。
- ③聞き取るべき情報を頭に入れながら、比較表現・数量表現に注意して、メモをとりながら、表を埋めていく。数字とその単位を意識する。
- ④解答のポイントは途中で修正することもあるので、注意が必要（錯乱情報）。
- ⑤与えられた情報から、直接解答を判断することができず、推論・思考する必要のある設問もあるので注意が必要。



・数字や数の表現を聞き取り、比較したり、単純な計算をする

聞き取った情報から素早く判断して図表を完成！！



【第4問B】 モノログ型条件一致

4点×1問=4点

160語程度

148wpm

★英文を聞き、3つの条件に当てはまる選択肢を選ぶ問題

★きちんと「読む力」を鍛える！！

- ①問題から「条件」を確認する。「状況」と「条件」を読む時間（約15秒）が与えられているので、音声を聞く前にしっかり読んで、どのような情報に注意して聞けばよいかを確認しておく。「条件」をしっかりと頭に入れて音声を聞く。
- ②4人の発話は、アメリカ英語以外の英語でも話される。
※話者はアメリカ人、イギリス人、非ネイティブ — グローバル言語としての英語
- ③聞き取りながら適宜表に「メモ」を書き込んでいく。各話者の説明の内容を整理しながら聞こう。
- ④聞き取った情報を比較して、選択肢が特定の「条件」に合う・合わないを判断する。条件を表す表の空欄に直接○×の印をメモするとよい。判断が難しい場合は△。1つでも×がつけば不正解。
- ⑤同じことを別の表現で述べている場合（言い換え表現）があるので注意。
「反対の意味の表現」にも注意。



複数の情報を聞き、状況・条件に基づき比較し判断する



【第5問】 モノログ・ワークシート完成 内容把握 280語程度 / 40語程度 **120wpm**
 3点+2×2問+4×2問=15点 **《最難関》**

★聞こえてくる長めの講義の内容に合致する選択肢を選ぶ問題

※複雑そうな表や、6つもある選択肢から難しい問題と感じられるが、聞き取るべき情報を押さえて選択肢を分別する

- ①「状況」「ワークシート」と問いおよび図表を読む時間（約60秒）が与えられているので、音声を聞く前に読んで、どのような内容の英文かを予測する。どこまで準備できるかがカギ。
- ②「問われる箇所」や「選択肢の内容」を把握する。どのような項目の聞き取りが求められているか？
- ③流れの把握はワークシートで放送と同時に目で追う→「聞き取る」べき情報を待つ。
- ④空欄に入る情報に集中する。適宜「メモ」を取りながら、講義内容を整理しながらワークシートの空欄を埋めていく。1回しか読まれないので注意深く聞く。「数値」に注意。

※耳と目から得た複数の情報を総合して、「どのようなことが示唆されるか？」を推測する思考力の問題。

社会的な課題に関する英文を聞き、聞き取った情報を図表から読み取った情報と組み合わせて判断する

◆第5問で優先的に確認すべき事項

※指示文や空白時間を使って「待ち受け」体勢を作る！



状況・ワークシート	テーマ / 「キーワード」	話題の流れ	空所周辺の情報
選択肢	選択肢の主語+述語（誰が+どうする） ワークシートに載っていない名詞 選択肢の共通点・相違点（どこが同じでどこが違う？）		
図表	タイトル	単位 / データ / 値の大小 / 極端な部分	図表が何を表しているか？ 選択肢との対応箇所

最大の難所がココ！

◎第6問全体の正答率は35.7% ⇒ **差がつく問題！**

【第6問A】 対話文・Q&A選択 3点×2問=6点 180語程度 **156wpm**

★聞こえてくる会話の内容に合致する選択肢を選ぶ問題

《難》

- ①各大問にある「状況」（1～3行程度）を必ずチェック。設問文・選択肢をしっかり読んで、どのような内容の英文かを予測→対話の状況・内容を把握でき、英文の理解度が増す（事前準備）。
- ②「賛成or反対」の把握（各話者の立場）と「なぜ？」の確認。
- ③全体の流れを聞き損なうことのないように。1回しか読まれないので注意深く聞く。
- ④英文と選択肢の間で「言い換え」表現がしばしば登場するので、意味を的確にとらえて解答する。正解の根拠となる情報は繰り返し出てくる。

※対話や議論を聞いて、各発話者の意見の要点（主張・立場）を把握し、それらを比較する。

- ⑤途中で話し手が立場を変える場面もある。



必要な情報を把握して、それらを統合して要点を整理し判断する

【第6問B】 対話文意見選択

4点×2問=8点

190語程度

125wpm

★聞こえてくる会話の内容に合致する選択肢を選ぶ問題

《難》

- ①「状況説明」を読んで議論の内容を確認し、図表・イラスト選択肢のタイトルを確認する。グラフは「タイトル」に着目して、何のグラフなのかを把握しておく。
- ②一人一人の議題に対する主張が「プラス」なのか、「マイナス」なのか、どちらとも言えないのかを、整理しながら耳を集中する。放送が1回しかないので集中して聞くこと。「誰の発言か？」を確実に押さえる。4人の声を聞き分けるのは難しいが、頻繁に呼ばれる名前（呼びかけ）が大きな手がかりになる。
- ③話者の発言は途中で変わることもあり、「最終的にはどのような立場に立っているか？」（賛成・反対・中立）を聞き逃さないようにする。「逆接の表現」は聞き逃さない。
- ④聞き取りの記憶と選択肢を照合する。

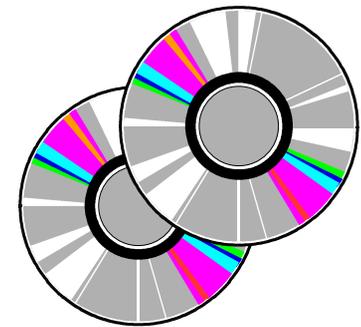
★第5問、第6問は、話題に関する背景的知識を持っていると聞き取りの助けとなる。



複数の発話者の意見を比較検討し、賛成・反対、類似点・相違点を判断する

問われている力

重要



- ① 正確に聞き取る力
- ② 素早く、正確に理解する力
- ③ 発話の意図を理解する力
- ④ 話の細部を理解する力
- ⑤ 話の全体を理解する力
- ⑥ 選択肢を素早く読み取る力
- ⑦ 何を聞き取るかを決める力



★「八幡のリスニング3原則」



- (1) 知らない単語は聞こえない (→ 語彙力の養成)
- (2) 読めない単語も聞こえない (→ 目・耳・口を全部使って練習)
- (3) 読めない英文も聞こえない (→ スクリプトの徹底活用)